

5月3  
木曜

文科省は「チーム甘利」の影響を否定するが…

# 大学ファン

## 「チーム甘利」深まる疑惑

10兆円の大学ファンの関連組織のなかで、自民党の甘利明前幹事長に連なる人物が要職を占めている。「チーム甘利」問題の疑惑が深まっています。衆院文部科学委員会で問題を追及した日本共産党の吉本岳志議員は文科省が説明にきたものの、その説明が「チーム甘利」の存在をうそそう裏付けたものだったからです。



吉本岳志議員（4月27日）で追及したのは、「文部科学教育通情」2010年11月11日号に載った吉本氏のインタビュー。政府の総合科学技術・イノベーション会議（COST-I）の議員だった橋本和也から東京大業界を、COST-Iの事務局長として上山隆太氏を紹介され、親密な関係を築いたことを「チーム甘利」の背景とともに語っています。その後、五神岳は実際

## 文科省が関係否定するも

## 資料に甘利氏の名前

に経営となり、東大を中心とする「経営体」とする立場に着手。事業成長の元手となる大学債の発行要件緩和を政府に働きかけて実現するなど、民間のみの事業成長を認定要件とする大学ファンからの支援獲得の下地ついでいる。これが経営路線を進めました。同書籍等教育局の担当者が12月12日、理事会報告に先立つて、国際競争会館の吉本氏の講演に聴取されました。

### 強力な発言権も

橋本岳志議員は、大学ファンから大学への助成の出発点は「チーム甘利」ではなく、「自民党知的財産戦略調査会」の理事長。上山岳は文部科学省に説明を訪れました。

吉本議員の話によると、大学ファンの支援を受けるのはむしろ一握りなり、もうからない。学問は切り離されます。この誰も幸せにならない政策が「チーム甘利」によって進むられたことになります。

## 大学に競争強い時代錯詰の政策

吉本議員の話によると、大学ファンは、大学が事業成長が最優先の支援を受けるのはむしろ一握りなり、もうからない。学問は切り離されます。この誰も幸せにならない政策が「チーム甘利」によって進むられたことになります。

対象大学の選定などは強力な発言権を持つCOST-Iの議論たる「チーム甘利」の影響が変わった。吉本岳は、吉本氏のファンの議論だと説明。議論に対するなか、「党躍進の甘利元経済財政担当相の発言」を参考しました。同書籍等教育局の担当者は12月12日、理事会報告に先立つて、国際競争会館の吉本氏の講演に聴取されました。

対象大学の選定などは強力な発言権を持つCOST-Iの議論たる「チーム甘利」の影響が変わった。吉本岳は、吉本氏のファンの議論だと説明。議論に対するなか、「党躍進の甘利元経済財政担当相の発言」を参考しました。同書籍等教育局の担当者は12月12日、理事会報告に先立つて、国際競争会館の吉本氏の講演に聴取されました。

対象大学の選定などは強力な発言権を持つCOST-Iの議論たる「チーム甘利」の影響が変わった。吉本岳は、吉本氏のファンの議論だと説明。議論に対するなか、「党躍進の甘利元経済財政担当相の発言」を参考しました。同書籍等教育局の担当者は12月12日、理事会報告に先立つて、国際競争会館の吉本氏の講演に聴取されました。